

令和7年度キャリア教育全体計画

山口県立豊浦総合支援学校

児童・生徒の実態 本校では病気や障害のある児童・生徒が学んでいる。小・中・高ともⅠ型コースとⅡ型コースに分けて指導している。さらに生徒の実態や進路に応じて、より柔軟な対応ができるように配慮している。 Ⅰ型コースでは小・中・高等学校教育課程に準じた授業を行い、Ⅱ型コースでは知的障害者に対する教育課程による授業を行っている。病状により登校できないときは、オンラインの遠隔授業により病院や自宅等で学習することもできる。 進路は進学、就職、就労移行支援事業所、福祉的就労、職業能力開発校、生活介護施設サービス利用等、多様である。 進路選択に向けて 1. 基本的生活習慣をしっかり身につける。 2. 体力・作業能力・基礎学力を身につける。 3. 自分の能力・適性に応じた進路先を選ぶ。	学校教育目標 【教育目標】 家庭・病院・地域との緊密な連携のもと、「一人ひとりを大切にする心のふれあう教育」を推進するとともに、病気や障害の特性を理解して自ら学ぶ力の育成と社会的自立をめざし、心身ともに調和のとれた児童生徒を育成する。 【中・長期目標】 ○病気・障害の理解<徳・体> ○基礎学力の充実<知> ○豊かな心情の育成<徳> ○生活能力の育成<知・徳・体> キャリア教育推進目標 1 児童生徒の一人ひとりの勤労観・職業観を育成する。 2 多様な進路希望に対応するキャリア教育の推進と進路指導・職業教育の充実を図る。 3 自分の良さを知り、夢や希望を持つ。(肯定的な自己像の形成)。 4 学ぶことや働くことの大切さを知る。(望ましい勤労観・職業観の育成)。 5 自分のことは自分で決める。(意思決定能力の育成)。 6 自分の病気や障害と上手につきあう。(病気の回復・改善)。	関連する教育法規等 ・教育基本法、学校教育法 ・教育振興基本計画 ・学習指導要領 ・「小学校・中学校・高等学校 キャリア教育推進の手引きー児童一人ひとりの勤労観、職業観を育てるためにー」平成18年11月 文部科学省 ・「高等教育におけるキャリア教育の推進に関する調査研究協力者会議(報告書)」平成18年11月 文部科学省 ・「キャリア教育学習プログラム」平成18年3月 県教育委員会 ・「高等学校におけるキャリア教育の在り方に関する調査研究(報告書)」
小学部 ・他者の思いを受け入れ、友達と仲良く遊んだり、協力して学習や活動に取り組んだりできる。 ・語彙を増やし、あいさつや返事、場にふさわしい会話ができる。 (人間関係形成・社会形成能力) ・自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、意欲と自信をもって活動できる。 ・個性を生かし、役割や責任を果たして役立つ喜びを経験する。 (自己理解・自己管理能力) ・時間やきまり、集団のルールを守ろうとし、根気強く取り組んだり、集中してやり遂げたりすることができる。 ・自分で選択したり、課題や困難が生じた場合に自分の力で解決したりしようとする。 (課題対応能力) ・生活や活動の中で、自分で判断して物事を行うことができる。 ・関わる人や働いている人に関心をもち、働くことの大切さや苦労がわかる。 (キャリアプランニング能力)	中学部 ・友達の良さや気持ちを理解し、互いに認め合うことを大切にしながら行動していくことができる。 ・いろいろな活動に積極的に参加し、多くの人と接しながら、協力して活動することができる。 (人間関係形成・社会形成能力) ・自分が「したいこと」「できること」を理解し、しっかりと自分と向き合いながら、自分の良さを伸ばすことができる。 ・社会が自分に「求めていること」を考えながら、困難なことにも果敢に挑戦することができる。 (自己理解・自己管理能力) ・自分の役割を果たしていく上で、課題となることを発見し、様々な情報を活用して解決の方法を考えることができる。 ・発見した課題を解決するために、目標を定め計画的に取り組むことができる。 (課題対応能力) ・「学ぶこと・働くこと」の意義や役割を理解し、様々な情報を活用しながら主体的に行動できる。 ・自分の個性や興味・関心を理解し、自分の果たすべき役割を考えながら進路を選択できる。 (キャリアプランニング能力)	高等部 ・多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができる。 ・自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力、協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる。 (人間関係形成・社会形成能力) ・自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの心身の調子を整えることに努め、かつ今後の成長のために進んで学ぶことができる。 (自己理解・自己管理能力) ・仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる。 (課題対応能力) ・「働くこと」の意義を理解し、自ら果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していくことができる。 (キャリアプランニング能力)
校内支援体制 ・進路指導全体計画のもとに、キャリアパスポートを活用して全職員が共通理解を図り、児童生徒一人ひとりの勤労観・職業観を育成する。 ・学習系統表をもとに学部との連携を図り、キャリア教育全体計画を推進していく。	家庭・地域・施設との連携 ・家庭・病院・地域や関係機関との連携を深め、自立や社会参加のために必要な生活能力を育てる。 ・企業や福祉施設などでの生活や仕事などの体験を通して、社会人・職業人として自立するための意欲・態度や能力を育てる。	学校間の連携 ・地域別担当校を中心に情報を共有し、効果的な求人開拓、就職指導を行う。 ・変化しつつある福祉サービスの実施状況を知り、地域の支援センターと協力した相談体制を築くようにする。